

第4回ワークショップ 「部屋の配置・部屋の面積を考えよう」 新しい市民センターの エリア分けを考える！



令和4年3月27日(日)、第4回「狛江市民センター改修を考える市民ワークショップ」を開催し、総勢16名の方にご参加いただきました。

現在、狛江市では市民センターの改修、新図書館の整備について検討を進めており、本ワークショップは、改修後の市民センターに導入される機能やスペース等についてご意見をいただくことを目的としています。

今回のテーマは、「部屋の配置・部屋の面積を考えよう」。ワークショップのはじめには、市民活動支援センターの機能や事業の紹介、他自治体の類似施設の事例紹介などを行いました。

グループワークでは、新しい市民センターに必要な部屋やその関係性を話し合い、新しい市民センターに設けたいエリアを考えていただきました。

グループワークの後は、各チームで話し合った内容を発表していただきました。

市民ワークショップでのご意見（一部抜粋）



菜の花 チーム



- ・施設全体：大きな車椅子が乗るエレベーター、部屋間の防音設備が必要、椅子や机も動かしやすいものにしたい
- ・「防音重視 / イベント」エリア（地下1階）：音楽ジャンルに配慮したスタジオ、保育室は地下の方が使いやすい
- ・「誰でも使える」エリア（1階）：入りやすい入口としたい
- ・「静かな学習」エリア（2階）：小中高生の自習スペース

- ・施設全体：多世代交流、若い人に来てもらえる施設としたい、女性トイレの面積を広げて綺麗にする、Wi-Fi、ワーキングスペース
- ・「ブックカフェ / 交流コミュニティ」エリア（1階）：カフェ・コミュニティスペース・閲覧室・市民活動支援センター機能を一体化する、本を借りてお茶を飲みながら読む
- ・地下1階：料理実習室を中心にして飲食可能で2-30人規模のコミュニティキッチン、防音室を増やす、テラスなどを有効活用
- ・「貸出諸室」エリア（2階）：大きな会議室やホールを可動壁で区切る

さくら チーム



- ・テラスや屋上などのオープンスペースに防音壁を設置して近隣からの理解を得ながら活用
- ・宿直室など使われていない空間を活用
- ・会議室は防音性を重視して、固定の壁で区切った部屋としたい
- ・撮影、録音用の部屋を設置
- ・料理実習室から飲食可能なスペースまでの動線を確保
- ・美術工芸室は西河原公民館との一本化も検討
- ・1階は市民ひろばとの動線を確保してフリースペースを配置
- ・貸出区分は4区分制ではなく1時間ごとの時間貸しとしたい



めじろ チーム



次回予告！

第5回のワークショップは、新図書館ワークショップとの合同ワークショップとして、4月10日(日)に実施しました。テーマは「新しい市民センター図書コーナーの機能・配置・面積を考えよう」です。新しい市民センターに設けられる図書コーナーに関して、その機能や市民センターの部屋・スペースとの連携などについて、図書館ワークショップに参加される皆さんと一緒に話し合っていました。

ワークショップの開催予定や実施内容については、狛江市のホームページに掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。ワークショップの全ての意見が載っている全録版もこちらからご覧ください。

お問い合わせ先：03-3430-1111

〒201-8585 東京都狛江市和泉本町1-1-5

狛江市政策室・公民館・図書館

市HP

